

児童発達支援事業所



2025. 7 月号

Eメール koroiba_mori@basil.ocn.ne.jp

ホームページ <https://minnanomori.jp/>

保護者懇談会へのご参加ありがとうございました

先日行われた保護者懇談会には 11 世帯 13 名の方が参加して下さいました。就学までの流れをお話しいただいたり、保護者の方の質問に丁寧に答えて頂いたり、有意義な時間となったのではないのでしょうか。

どこの学校を選ぶのが子どもにとって最善なのか悩まれるとは思いますが、ご家族でよく話し合っただけで決めることの大切さ、自分たちの決断や子どもを信じる気持ちが大切だとお話して下さったのが印象的でした。ころころ伊場では、子どもたちが自信をもって取り組めることを増やしたり、安心した環境の中でコミュニケーションを育てていったりなど、個々の課題に沿って支援を続けていきますが、生活や関わりの中で自分は愛されていると感じる喜びや、自己肯定感も育てていきたいと思っています。



<子どもの力を信じる>

子どもたちの生活する様子を見ていると、自分で出来ることでも大人の手を借りようと待っていたり、すぐに「手伝って」と頼ってきたりする姿が色々な場面で見られます。待っているだけの子には、「～やって」などヘルプを出せるように職員と一緒に伝え方を伝えたり、一緒に言ってみたりして、自分で言えたという自信に繋がるようにしています。少しずつ出来るようになってきた子には、時間がかかっても良いので自分でやってみるのを待つ・見守ることも大切だと思っています。少しの積み重ねが、子どもたちの“自分で出来る！やってみたい！”気持ちを育てていくのだと思います。そんな気持ちを大切に今後も子どもたちと過ごしていきたいと思っています。

・8/13(水) 半日療育、8/14(木)15(金)は休所日です。

・8/23(土) 保護者会「子どもとの関わり方について」浜松市根洗学園施設長、松本智子先生



🌻たいよう🌻

< 神様がやってきた！ >

6月16日（月）にプール開きを行いました。まだ寒いのではないかと予想していましたが、その予想は見事に裏切られ、気持ちよくプール遊びを楽しんでいます。

毎年プール開きはまつのき保育園と合同で行っています。水の女神様からプールの約束についての話を聞いたり、女神さまからもらったゼリーでゼリー拾いをする楽しいイベントですが、今年は暑さ対策のため各園で行うことになりました。たいようクラスでも朝の会で「今日はプール開きをします」と伝えた後、水の神様からゼリーのプレゼントが届いているよ、と話す「ええ～、神様がゼリーくれたの?!」と目を輝かせていました。

その翌日には、プールに入りながら感触遊びで氷を使って遊びましたが、「水の神様から氷が届いたよ」と伝えると、「わぁ、今日は氷くれたんだ!」と再び喜んでくれました。またその翌日、朝の会で読み聞かせする絵本で、どれがいいか意見が割れてしまいました。子どもたちはお互いに自分が読んでほしい絵本を譲ることができません。

そこで人差し指を立てて「今から、ここ（指先）に本の神様を呼びたいと思います」と話すと、部屋の中がしんと静かに…。「どちらにしようかな、本の神様の言う通り」と言いながら交互に絵本を指をさしました。最後に指が止まった絵本を「神様はこっちの本がいいそうですよ」と言うと、みんな「神様はこっちか」と静かに納得していました。

実際には存在しないものを「本当はいるかもしれない」と現実とファンタジーの世界を行き来きできるのは、子どもの特権ではないでしょうか。現実には受け入れがたいことも、ファンタジーの力を借りればすんなり納得できることも多いです。「今日も楽しかった!」とたくさんの楽しい経験を重ねたいと思います。

☆ほし☆

< 好きを通じて仲間と繋がる >

A君は虫が大好きです。あらゆる虫の種類をよく知っています。ある日B君が虫を捕まえてみんなに見せてくれました。「なんの虫だろう」と保育者も含めて首をかしげていた所に、たいようクラスのC君が「A君は?」A君に聞けば教えてくれるはず!という提案をしてくれたのです。また、D君はA君を通して虫に関心が出てきました。私たち保育者の知らないところで虫に関してのおしゃべりもしているようで、お家の方に話をしたり、家でも虫探しを楽しんでいたようです。そのD君は絵を描くことがとても上手です。実際に自分の目で見た虫を描いたり、図鑑をみて蝶を描きわけていたりしています。その絵をみたE君「D君って虫の絵上手だね」D君も虫が大好きです。だからこそ、E君の絵の素晴らしさを実感することが出来たのでしょう。

また、F君はブロック遊びが得意です。保育者には全く分からない見本の図形を読み解き組み立てています。毎回その様子をみていたG君「F君みたいな作りたい」と挑戦し始めました。似たような細かいパーツが沢山あり、試行錯誤しながら車をつくりあげると「出来た!!」ととても嬉しそうでした。

子ども達の【好き】には好奇心やワクワクする気持ちが沢山あるのでしょう。友だちの姿をみて、【やってみよう】と挑戦する姿、友だちの良い姿を認めていることは、子ども達が能動的に遊びを進める力があるからです。

子ども達にとって【遊び＝学び】です。時により大人の支援は必要ですが、受け身ではなく、能動的に遊びが進められ、何かが出来るようになること、それによって主体的に仲間と関わりあうことで、自然とコミュニケーション力も培われていきます。友だちに認められる姿は自己肯定感を育むでしょう。これからも、子ども達の気持ちを尊重しながら豊かな体験をしていきたいと思います。